

# 愛媛県における 地域資源活用ビジネスの状況について

地域には、様々な農産物や、地域独自の景観、サービス、伝統品などの資源があり、それらのなかには、様々な理由により未活用のまま埋もれているものも多い。

地域の活性化を図るには、こうした地域の資源をさらに活用していくことが求められることから、愛媛県における地域資源の現状を把握するための調査を実施した。

## 1. 調査方法

県内の産業支援機関、商工関連団体等へ調査票を送付。返送された事例を集計した。

## 2. 調査期間

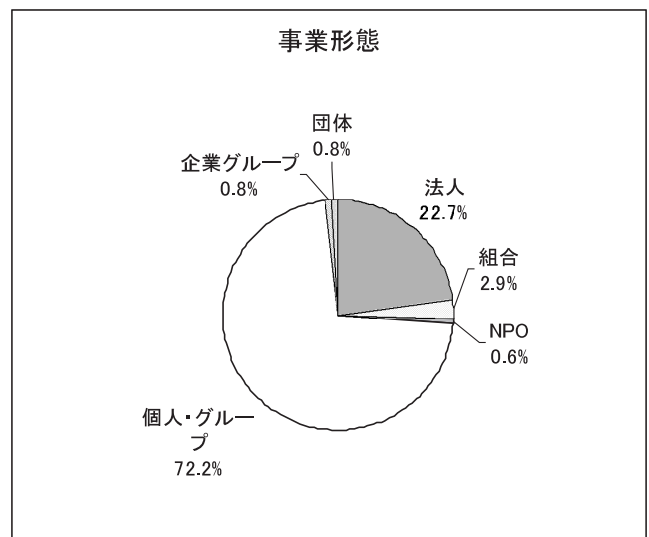
平成18年10月25日（水）から平成18年11月30日（木）

## 3. 調査結果

554件の回答が得られ重複分を除くと523件となった。概要は次のとおり。

### (1) 全体集計

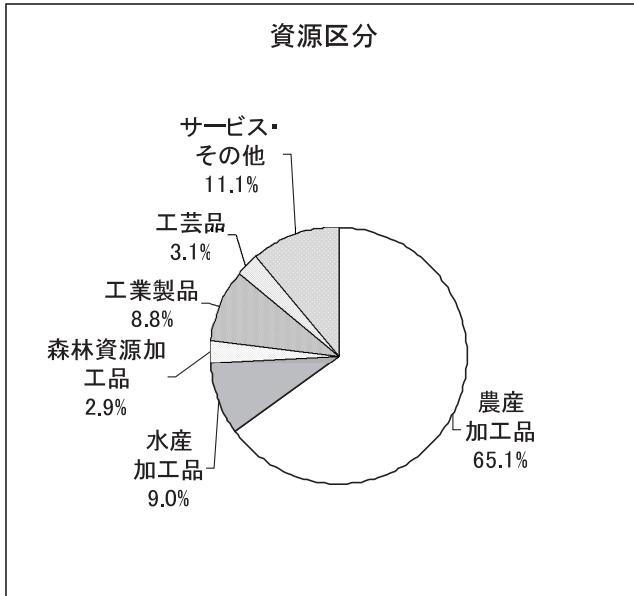
#### ①事業形態別



	件数	割合 (%)
法人	119	22.7
組合	15	2.9
NPO	3	0.6
個人・グループ	378	72.2
企業グループ	4	0.8
団体	4	0.8
合計	523	100

農産加工品の割合が65%と高くなっている。次いで、サービスその他が11%、水産加工品と工業製品が9%と続いている。森林資源加工品と工芸品はそれぞれ3%となっている。

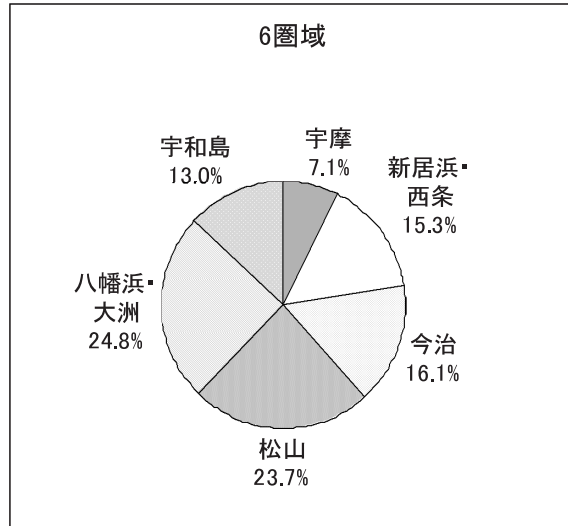
②地域資源別



	件数	割合 (%)
農産加工品	341	65.1
水産加工品	47	9.0
森林資源加工品	15	2.9
工業製品	46	8.8
工芸品	16	3.1
サービス・その他	58	11.1
合計	523	100

農産加工品の割合が65%と高くなっている。次いで、サービスその他が11%、水産加工品と工業製品が9%と続いている。森林資源加工品と工芸品はそれぞれ3%となっている。

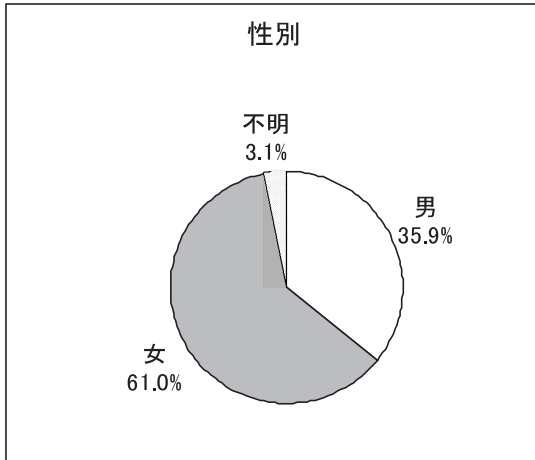
③地域別（6圏域別）



	件数	割合 (%)
宇摩	37	7.1
新居浜・西条	80	15.3
今治	84	16.1
松山	124	23.7
八幡浜・大洲	130	24.8
宇和島	68	13.0
合計	523	100

八幡浜・大洲圏域の割合が25%、次いで松山圏域が24%と比較的高い。以下 今治圏域（16%）、新居浜・西条圏域（15%）、宇和島圏域（13%）、宇摩圏域（7%）の順となっている。

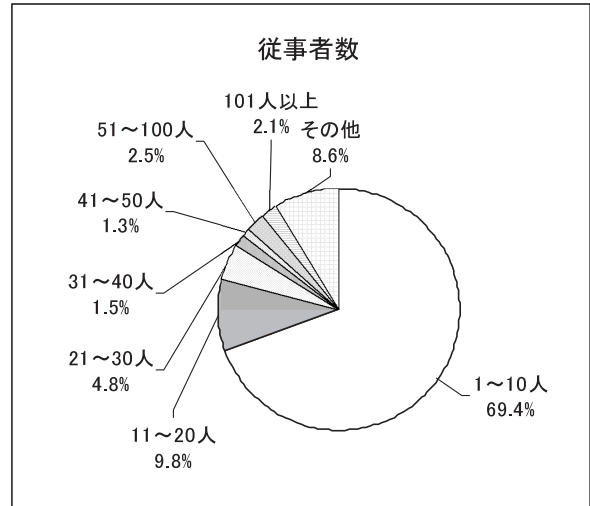
④代表者性別



	件数	割合 (%)
男	188	35.9
女	319	61.0
不明	16	3.1
合計	523	100

代表者の性別では女性の割合が61%と高い。

⑤従事者規模別

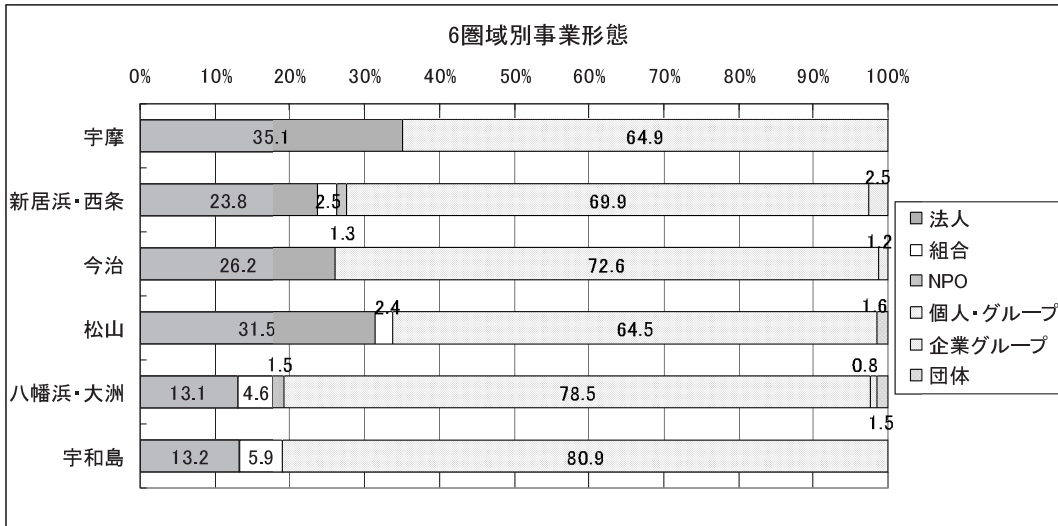


	件数	割合 (%)
1~10	363	69.4
11~20	51	9.8
21~30	25	4.8
31~40	8	1.5
41~50	7	1.3
51~100	13	2.5
101~999	11	2.1
不明	45	8.6
合計	523	100

従事者数別では、10人以下の小規模なものが69%と大半をしめている。11人以上では、11人~20人が10%、21人~30人以上が5%、101人以上が2%などとなっている。

(2) 圏域別集計 (クロス集計)

①事業形態別

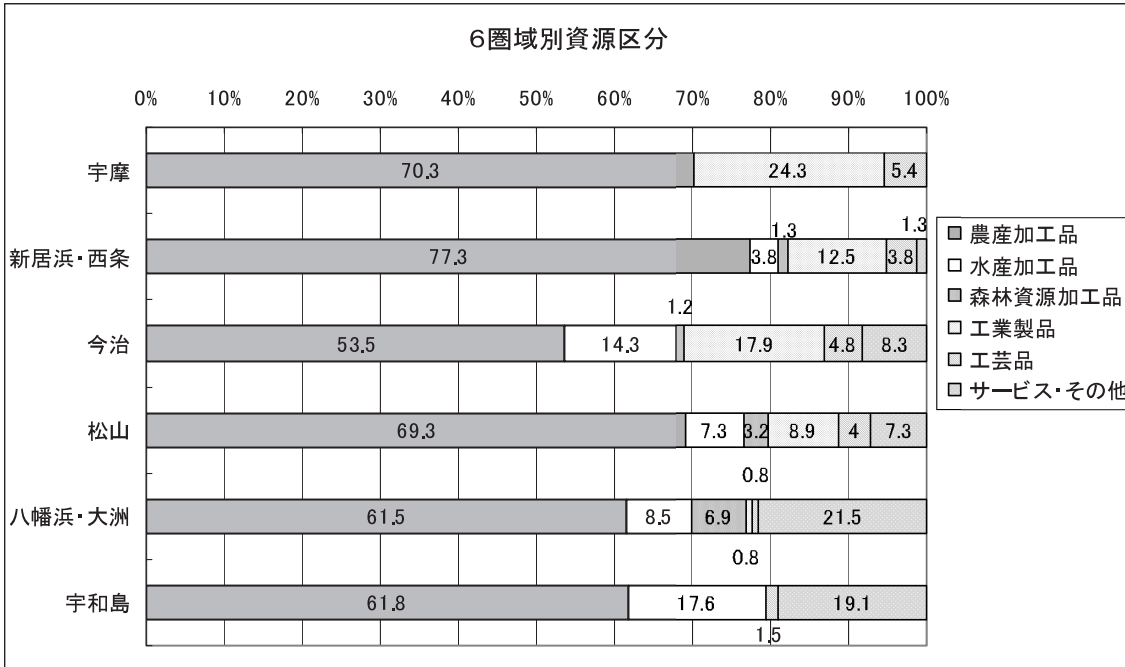


上段:件数	合計	法人	組合	NPO	個人・グループ	企業グループ	団体
下段:%							
合計	523	119	15	3	378	4	4
	100	22.8	2.9	0.6	72.1	0.8	0.8
宇摩	37	13	-	-	24	-	-
	100	35.1	-	-	64.9	-	-
新居浜・西条	80	19	2	1	56	2	-
	100	23.8	2.5	1.3	69.9	2.5	-
今治	84	22	-	-	61	1	-
	100	26.2	-	-	72.6	1.2	-
松山	124	39	3	-	80	-	2
	100	31.5	2.4	-	64.5	-	1.6
八幡浜・大洲	130	17	6	2	102	1	2
	100	13.1	4.6	1.5	78.5	0.8	1.5
宇和島	68	9	4	-	55	-	-
	100	13.2	5.9	-	80.9	-	-

各圏域とも個人・グループの割合が高いが、南予の八幡浜・大洲圏域、宇和島圏域では、約8割と特に高くなっている。

法人の割合が比較的高いのは、宇摩圏域 (35%)、松山圏域 (32%) である。

②資源区分別



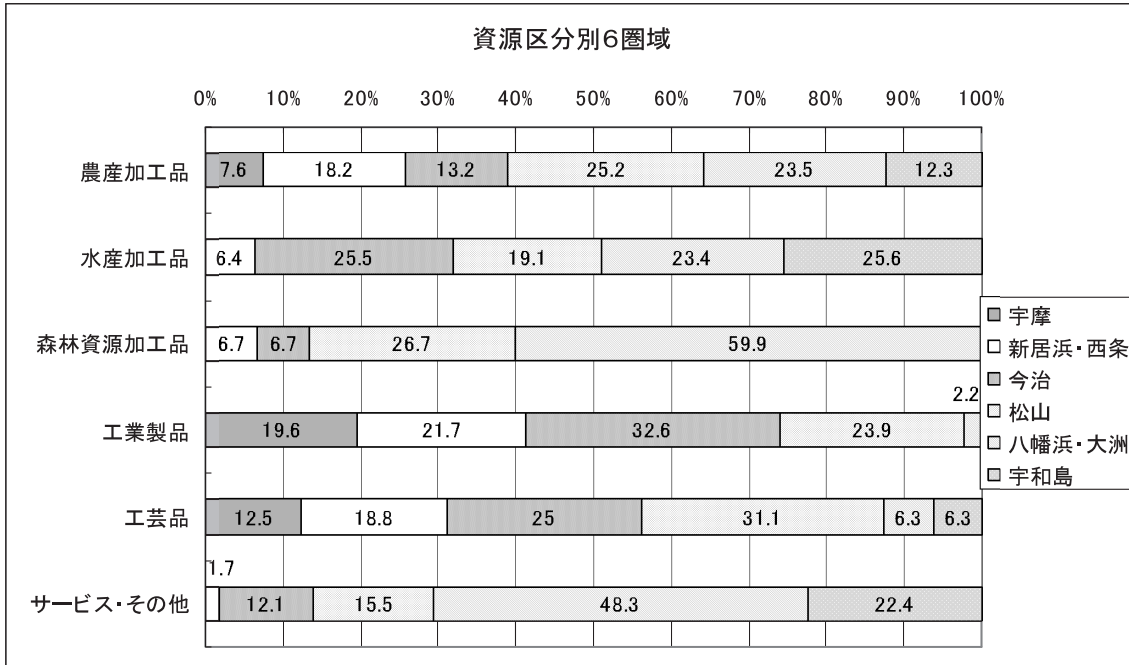
上段:件数	合計	農産加工品	水産加工品	森林資源加工品	工業製品	工芸品	サービス・その他
下段:%							
合計	523	341	47	15	46	16	58
	100	65.1	9	2.9	8.8	3.1	11.1
宇摩	37	26	-	-	9	2	-
	100	70.3	-	-	24.3	5.4	-
新居浜・西条	80	62	3	1	10	3	1
	100	77.3	3.8	1.3	12.5	3.8	1.3
今治	84	45	12	1	15	4	7
	100	53.5	14.3	1.2	17.9	4.8	8.3
松山	124	86	9	4	11	5	9
	100	69.3	7.3	3.2	8.9	4	7.3
八幡浜・大洲	130	80	11	9	1	1	28
	100	61.5	8.5	6.9	0.8	0.8	21.5
宇和島	68	42	12	-	-	1	13
	100	61.8	17.6	-	-	1.5	19.1

各圏域とも農産加工品の割合が5割以上をしめている。農産加工品の次に割合が高いのは、宇摩、新居浜・西条、今治、松山の各圏域が工業製品、八幡浜・大洲、宇和島

の両圏域が、サービス・その他となっている。宇和島圏域と今治圏域では水産加工品の比も高い。

(3) 地域資源別集計 (クロス集計)

① 圏域別



上段:件数 下段:%	合計	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島
合計	523	37	80	84	124	130	68
	100	7.1	15.3	16.1	23.7	24.8	13
農産加工品	341	26	62	45	86	80	42
	100	7.6	18.2	13.2	25.2	23.5	12.3
水産加工品	47	-	3	12	9	11	12
	100	-	6.4	25.5	19.1	23.4	25.6
森林資源加工品	15	-	1	1	4	9	-
	100	-	6.7	6.7	26.7	59.9	-
工業製品	46	9	10	15	11	1	-
	100	19.6	21.7	32.6	23.9	2.2	-
工芸品	16	2	3	4	5	1	1
	100	12.5	18.8	25	31.1	6.3	6.3
サービス・その他	58	-	1	7	9	28	13
	100	-	1.7	12.1	15.5	48.3	22.4

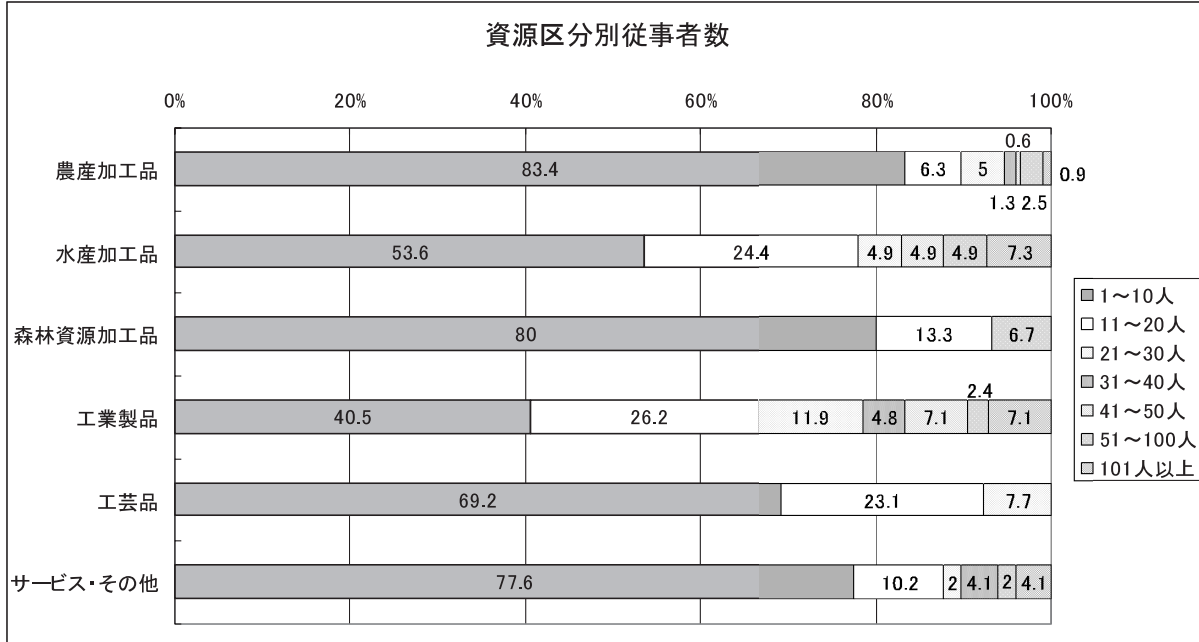
農産加工品は、松山圏域、八幡浜・大洲圏域の件数比率が比較的高い。水産加工品は、宇和島圏域、今治圏域、八幡浜・大洲圏域の比率が高く、次いで松山圏域となっている。乾ししいたけ、木炭、竹炭などの森林資源加工

品は八幡浜・大洲圏域が6割をしめている。

工業製品の割合が高いのは、今治圏域の33%、次いで松山圏域の24%となっている。宇摩圏域、新居浜・西条圏域もそれぞれ2割をしめるが、八幡浜・大洲圏域、宇

和島圏域では少ない。サービス・その他は八幡浜・大洲圏域が16%となっている。圏域が48%と高く、次いで宇和島圏域が22.4%、松山圏

②従事者数別



上段 件数 下段:%	合計	1~10	11~20	21~30	31~40	41~50	51~ 100	101~ 999
合 計	478	363	51	25	8	7	13	11
	100	75.9	10.7	5.2	1.7	1.5	2.7	2.3
農産加工品	318	265	20	16	4	2	8	3
	100	83.4	6.3	5	1.3	0.6	2.5	0.9
水産加工品	41	22	10	2	-	2	2	3
	100	53.6	24.4	4.9	-	4.9	4.9	7.3
森林資源 加工品	15	12	2	-	-	-	1	-
	100	80	13.3	-	-	-	6.7	-
工業製品	42	17	11	5	2	3	1	3
	100	40.5	26.2	11.9	4.8	7.1	2.4	7.1
工芸品	13	9	3	1	-	-	-	-
	100	69.2	23.1	7.7	-	-	-	-
サービス・ その他	49	38	5	1	2	-	1	2
	100	77.6	10.2	2	4.1	-	2	4.1

農産加工品、森林資源加工品、サービス・その他では、従事者数10人以下が約8割をしめている。水産加工品や工芸品でも、従事者数10人以下の割合がそれぞれ54%、

69%と高いが、従業員数11人~20人の割合も20%あまりある。工業製品の従事者数10人以下の割合は41%であるが、従事者数11人以上の割合も高い。

## (4) 品目別の傾向

	かんきつ	栗	じゃこ天	タオル	縫製品	製紙 紙加工	紙製品 (工芸品)	観光
四国中央市						6	4	
(宇摩圏域計)	0	0	0	0	0	6	4	0
新居浜市	1			1			1	
西条市			1		1		1	
(新居浜・西条圏域計)	1	0	1	1	1	0	2	0
今治市	6		2	10	2			1
上島町	4							
(今治圏域計)	10	0	2	10	2	0	0	1
松山市	6			1			1	
伊予市		2	1					
東温市								
松前町		1						
砥部町								
久万高原町								3
(松山圏域計)	6	3	1	1	0	0	1	3
八幡浜市	4							
大洲市			1					
西予市	6	1	1					
内子町					1		2	11
伊方町	1							
(八幡浜・大洲圏域計)	11	1	2	2	1	2	2	11
宇和島市	2		3					2
松野町								
鬼北町								
愛南町	3							3
(宇和島圏域計)	5	0	3	0	0	0	0	5
計	33	4	9	12	4	6	9	20

個々の地域資源別に特徴的なものをみてる。農産加工品の中で、柑橘類とその加工品では、宇摩圏域を除く各圏域でストレートジュース、ジャムのほか、機能性成分や皮・搾汁残さ等を活かした食パン、スイーツや調味料などの新規加工品やブラッドオレンジなどの新しい品

種、レモンを活用した料理メニューなどの取り組みがみられる。

水産加工品のじゃこ天は、宇和島圏域はじめ今治圏域、八幡浜・大洲圏域などで、材料にこだわったり、コロツケ風など調理方法を工夫したもの、従来の冷蔵でなく



スーパーのバックヤードで調理ができるよう冷凍加工するもの、ネット販売や海外といった新しい販路に取り組んでいるものなどがある。

今治圏域のタオル産業では、新素材や新たな加工方法による製品づくり、タオル生産の素材と技術を活かした手作りのマフラー、ショール等付加価値を高めた製品のほか、菊間の鬼瓦とタオルをセットにした厄除け商品などユニークな取り組みもみられる。

サービス・その他では、八幡浜・大洲圏域や宇和島圏域などで農家や漁家民泊・レストラン、それらを含んだグリーンツーリズムなど観光面での取り組み事例が目立っている。

#### 4. まとめ

今回の調査は、支援機関等で把握されている情報をとりまとめたものであるが、アイデアレベルの情報については把握が困難であることや、企業での取り組みは段階によっては秘匿されることもあることなどから、この結果が愛媛県の地域資源活用事例のすべてというわけではない。

把握できた範囲内で見ると、事業に活用されている地域資源としては「農産加工品」や「水産加工品」が合わせて74.1%を占めており、事業形態別では「個人・グループ」による事業が全体の72.2%となっており、従事者数も「1～10人」の少人数の団体が69.4%と最も多くなっている。すなわち、個人や少人数が第一次産品を加工するような小規模な取り組みが多いことがわかる。

地域には埋もれた資源や活用されていない資源が、まだまだ多く存在すると考えられ、地域の活性化を図るためには、こうした地域資源を活用したビジネスの展開が期待される場所である。ただ、有用な地域資源であっても、そのままでは宝石の原石のようなもので、磨き上げなければ価値は高まらない。特に前述したような小規模な取り組みでは、自分たちだけでビジネスを高めていくことは難しい。

資源を見出し、磨き上げるには外部の視点が有効であることが多く、地域への人材誘致を図ることも検討する

必要であろう。その方策のひとつとして、例えば退職期を迎えた団塊の世代の経験を活かすような取り組みができれば、交流・定住人口の拡大にもつながると考えられる。愛媛の豊かな地域資源を地域内外の人材が連携して活かしていくことにより、地域の活力がさらに高まることを期待したい。

〈本稿は、平成18年度に財団法人えひめ産業振興財団から受託した「地域シーズ実態調査」報告書をもとに作成したものである。〉

(当センター主任研究員 武智公博)